

3

少年少女ふれあい野球教室

- (1) 会 場 グラウンド内
 9：45開始予定
- (2) 時 間 準備が出来次第開始、11：45まで
- (3) 受 講 者 200名以上※チーム単位（事前募集による）
- (4) 進 行 （司会者2人）
- ① 主催者（開催市町村）挨拶（2分）
 - ② 講師紹介（2分）
 - ③ 講師代表挨拶（2分）
 - ④ 野球教室心構え
 - ⑤ 野球実技指導（概ね90分前後）
 - ⑥ 総括、閉会式（2分）
- (5) 要 領
- ① 野球教室は、受講チームを3ブロックに分けて行います。
 - ② 前記①の3ブロック（原則）に①投②守③打の講師を配置します。
 - ③ 指導は、守りと打撃に分けて行います。守りは、投手部門と野手(守備)部門に分けて行います。
 - ④ 投手部門には、投手と捕手のバッテリーを対象とします。
 - ⑤ 前記④のバッテリー以外の受講生は、野手(守備)部門に入って受講していただきます。
 - ⑥ 受講修了証は、教室終了後に開催地からからチーム代表者に渡し、チームの代表者から受講生に渡してください。

・守備指導(投手)



・守備指導(野手)



・打撃指導



(6) そ の 他

- ① 野球教室用の軟式ボール30ダース(360球)は自治総合センターで提供、それ以上のボールについては開催地にてご負担いただきます。(打撃では1ネットに40球、守備では一人1球が必要です)
- ② 硬式ボールによる指導はいかなる場合でも認められていません。ご注意ください。

※教室用のボールは市で用意します

《野球教室の進め方》

※時間は目安です。開会式が終了し、準備が整い次第教室を開始します。

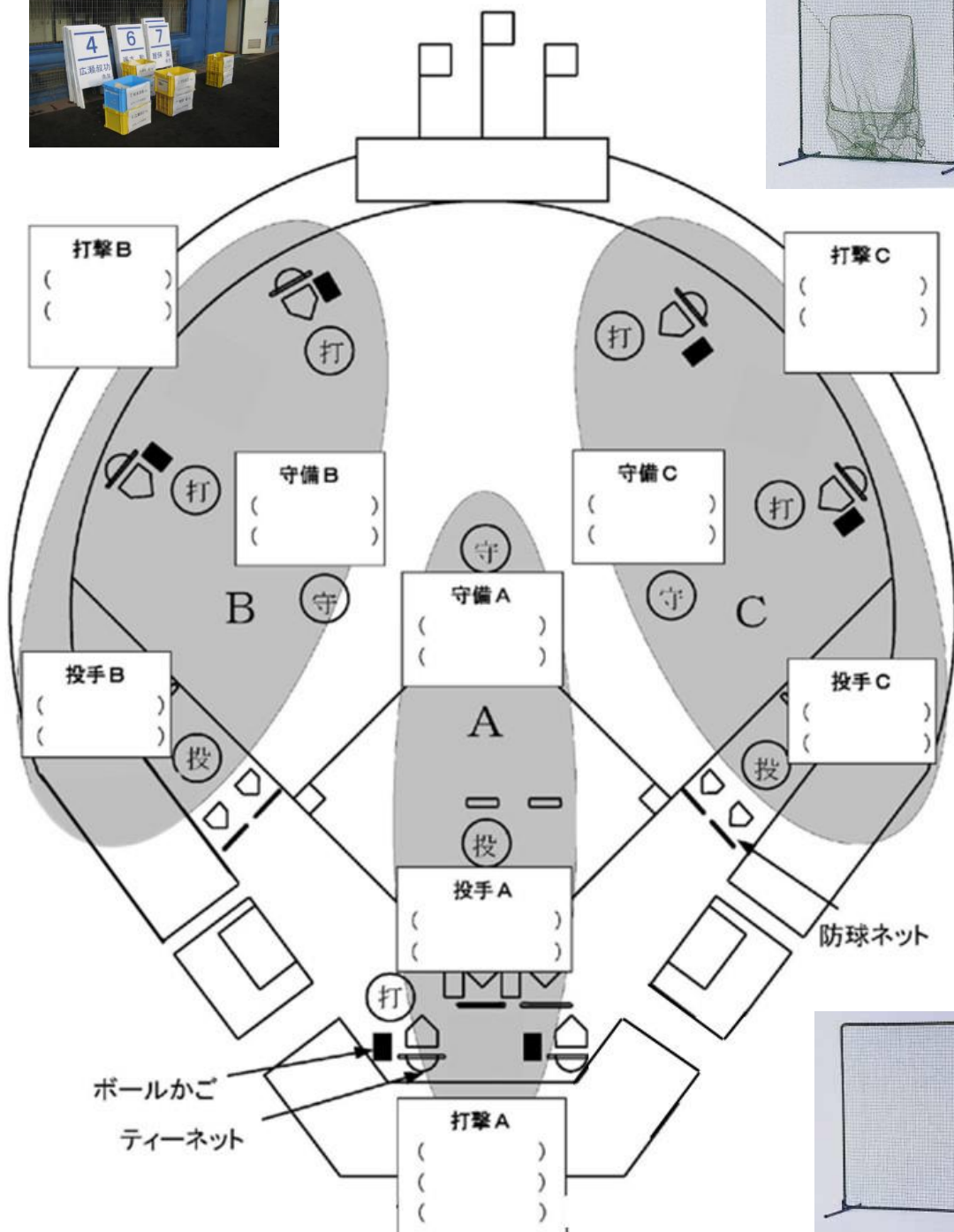
時 間	全体計画	行 動	確 認 事 項
9:45	①主催者挨拶 ②講師紹介 ③講師代表挨拶	チーム単位でピッチャーズ・マウンド後方に整列	①バット、グローブの置き場所(最初の受講場所に) ②私物(外野スタンドに) ③スタッフの立ち位置(受講生の後ろに整列) ④ネット等、準備品の設営・設置状況 ⑤ラインは前日までに引いておく。
10:00	野球教室	心構え個別指導	講師代表が「心構え」を話す。 心構え終了後、すぐに個別指導に入るため、受講生及び講師を受講生担当スタッフ及び講師担当スタッフは速やかに誘導①受講中に移動する時は駆け足を励行②「守」「打」への交代は迅速に行う。('守」「打」それぞれの指導時間は概ね45分)
11:40		総 括 (講師代表)	①受講生は帽子をとり、お礼をいう。 ②司会者の終了挨拶のあと、スタッフは受講生をその場に座らせ午後のスケジュール等を説明する。
11:45		終 了	講師は3塁側から退出し、昼食会場へ移動。受講生は1塁側から退出する。

《参考》野球教室配置図

・講師受講位置看板、ボール籠(各 19)



・ティーネット(7)



防球ネット



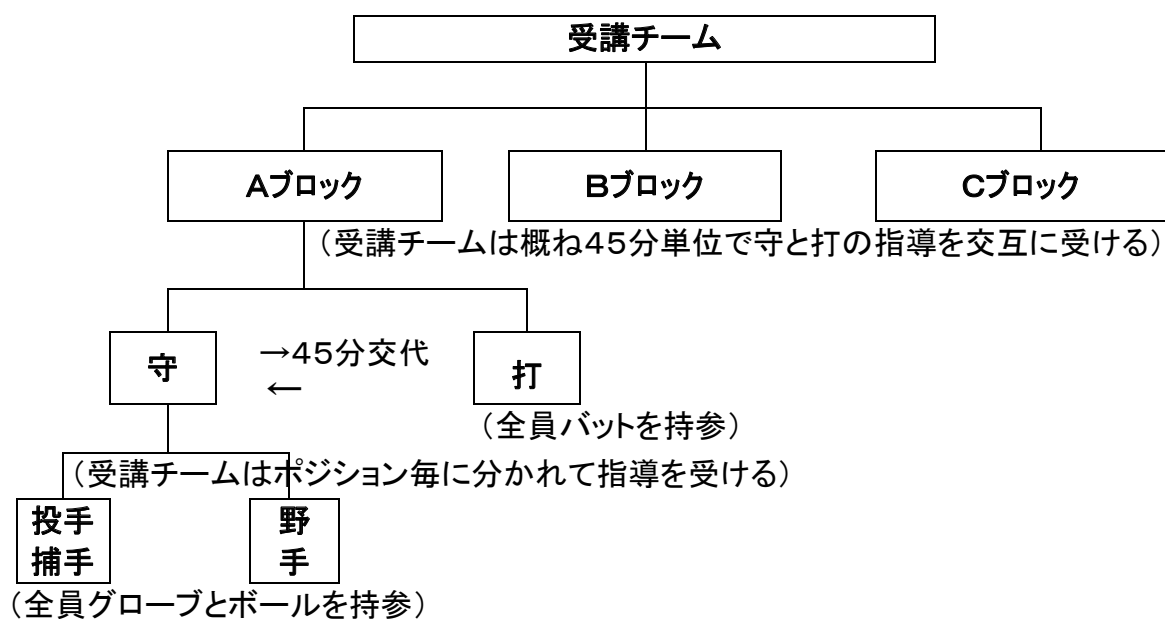
・防球ネット(6)

※出場選手に応じて打撃と投手の配置数に変更になる場合があります。

《参考》

- (1) 個別指導は、守（投手部門・野手部門）・打の2部門をチームごとに前・後半で指導する。

時 間	(守)	(打)
10:00～10:50 (前半)	○チーム	△チーム
10:50～11:35 (後半)	△チーム	○チーム



(2) 留意事項

- ① 野球教室前(8時30分スタート目安)に、全受講生に対して、記念撮影場所、指導場所の確認のリハーサルを行ってください。
- ② 受講生の荷物及び関係者席は外野席一角にまとめます。内野席は9:00の開場時まで空けておきます。ブロック責任者は、放送室の時間経過のアナウンスに注意し講師担当に残り時間を伝えてください。
- ③ 講師担当は、講師に残り時間と受講を受けていない受講生の数を伝えます。
- ④ 受講生担当スタッフをはじめ各スタッフは一球一球受講生に声をかけ、雰囲気づくりに気を配ってください。
- ⑤ 講師担当と受講生担当スタッフはよく連携をとり、特に、指導が終わった受講生の行動にも配慮してください。
- ⑥ 各スタッフはネット等に当たって跳ね返ってくるボールや受講生のバット・スイング等に注意し、安全管理に万全を期してください。
- ⑦ 各スタッフは野球教室の全体プログラムがスムーズに行えるよう担当ブロックの進行管理には万全を期してください。
- ⑧ ブロック責任者は自分のブロック内の進行管理に万全を期すとともに他ブロックとも調和した進行管理を行います。
- ⑨ 「守」「打」の交代は休憩時間がないため、速やかに移動させてください。
- ⑩ 受講生、スタッフの水分補給、トイレは必要に応じて行ってください。

(3) 受講生の服装

- ① ユニフォーム若しくはジャージを着用してください。
- ② 帽子は必ず着用してください。
- ③ スパイク(金属は禁止)を着用し、やむを得ない場合は運動靴でも可とします。
※ただし開催地が要望する場合、中学生に限り、安全面に十分配慮することを条件に金属スパイク着用を認めます。
- ④ バット、グローブは必ず持参ください。
- ⑤ ユニフォーム(ジャージ)左の胸の所に8センチ×15センチの名札(姓のみでもOK)をつけてください。

